

総合計画素案の構成と考え方

● 総合計画素案の構成

- 第1章 計画策定の趣旨等 (暫定計画においても記載)
- 第2章 長期的展望 (2040年頃までに目指すべき本県の姿を示す)
- 1 時代の潮流と山梨県の現状 現状分析
 - 2 山梨県の可能性と課題 現状分析のまとめ
 - 3 基本理念 目指すべき姿と取り組みの方向性
 - 4 2040年に目指す山梨県の将来像 目指す本県の将来像
人口の将来展望
- 第3章 アクションプラン (2030年を視野に、4年間で実施する施策等を示す)
- 1 基本理念実現のための政策体系
 - ・ 5つの戦略のもとに、3～5の政策を設定。
 - ・ 各政策は、10程度の施策から構成予定。
 - ・ 政策体系について、現時点では、別紙(裏面)のような体系を想定。

戦略1 攻めの「やまなし」成長戦略

戦略2 次世代「やまなし」投資戦略

戦略3 活躍「やまなし」促進戦略

戦略4 安心「やまなし」充実戦略

戦略5 快適「やまなし」構築戦略
 - 2 行財政改革の取り組み 行政改革について
 - 3 地方創生に向けた取り組み 人口減少対策について
 - 4 計画の効果的な推進 計画の推進体制について

別紙 政策体系（案）

戦略1 攻めの「やまなし」成長戦略

- 政策1 やまなしを牽引する産業の育成（仮）
- 政策2 観光産業の高付加価値化（仮）
- 政策3 農業の成長産業化（仮）
- 政策4 豊かな森林資源の活用（仮）
- 政策5 地場産業や経済循環をさせる産業の強化（仮）

戦略2 次世代「やまなし」投資戦略

- 政策1 一人ひとりの個性を生かした教育の推進（仮）
- 政策2 産業を支える人材の育成・確保（仮）
- 政策3 文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮（仮）

戦略3 活躍「やまなし」促進戦略

- 政策1 ライフステージを通じて活躍できる環境づくり（仮）
- 政策2 誰もが個性や能力を生かして活躍できる環境の整備（仮）
- 政策3 地域へのひとの流れの強化（仮）

戦略4 安心「やまなし」充実戦略

- 政策1 健康・命を守る保健医療の確保（仮）
- 政策2 地域で安心して自分らしく暮らすことができる福祉の充実（仮）
- 政策3 環境と調和した持続可能な社会への転換（仮）

戦略5 快適「やまなし」構築戦略

- 政策1 産業・生活を支える交通ネットワークの充実（仮）
- 政策2 災害に強い県土づくり（仮）
- 政策3 地域を支えるコミュニティづくり（仮）

総合計画記載項目の見取り図

項番	時代の潮流	本県の現状	可能性と課題	目指すべき本県の姿	取り組みの方向性	戦略のねらい	政策体系			
県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし	1	グローバル化① ・アジア諸国の高い成長率 ・財貿易の高い伸び率 ・世界経済の需要を取り込み日本の成長につなげる (未来投資戦略2018) ・TPP、FTA	・県内総生産の伸び率 ・輸出の状況 (農業、地場)	・アジアの成長 ・取り込みが不十分 ・TPP等は機会	県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし	産業の振興による県内経済の活性化(戦略1) ※共生等は戦略3	目的：良質な雇用の拡大等による県民所得の向上 手段：時代に対応した産業の振興 地域資源の活用 県外、国外から獲得した外貨の好循環 リニア中央新幹線の活用	政策1 やまなしを牽引する産業の育成 政策3 農業の成長産業化 政策4 豊かな森林資源の活用 政策5 地場産業や経済循環をさせる産業の強化 政策2 観光産業の高付加価値化		
	2	グローバル化② ・ヒトの移動の増加 ・新たな在留資格の創設 ・訪日外国人の増加	・在留外国人の推移 ・観光客の推移 (訪日外国人・圏域別) ・消費単価の比較	・多くの訪日外国人 ・様々な観光資源 ・富士北麓への観光集中 ・外国人材との共生		次代を担う人材の育成・確保(戦略2)	目的：将来にわたって山梨が発展していくための人材の育成・確保 手段：一人ひとりに向き合った質の高い教育 地域の産業と連携した産業人材の育成 スポーツ・文化による可能性の発揮	政策1 一人ひとりの個性を生かした教育の推進 政策2 産業を支える人材の育成・確保 政策3 文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮		
	3	第4次産業革命① ・情報通信技術の進化 ・新たな付加価値、サービス ・Society5.0に向けた取り組み	・産業構造(基幹産業) ・農業生産額 ・木材生産量、人工林資源の推移 ・地場産業	・有力な機械電子産業 ・情報通信産業が課題 ・経済循環が必要		誰もが生涯を通じて活躍できる環境の整備(戦略3)	目的：多様な個人の能力が発揮され、生涯を通じて活躍でき、誰もが生きがいを感じることでできる環境づくり 手段：子育て支援の充実 障害等の有無に関わらず活躍できる環境 移住者や外国人材の受け入れ	政策1 ライフステージを通じて活躍できる環境づくり 政策2 誰もが個性や能力を生かして活躍できる環境の整備 政策3 地域へのひとの流れの強化		
	4	第4次産業革命② ・変化に対応した人材育成 ・第3期教育振興基本計画	・有効求人倍率(職業別)において事務的職業は低い ・大学定員の充足率と流出率がともに高い	・人材の不足 ・求められる人材の変化 ・若者の流出		安心して暮らすための保健・医療・福祉の充実と持続可能な社会への転換(戦略4)	目的：地域で安心して暮らすための医療提供体制、地域福祉体制の確保や持続可能社会への転換 手段：医療提供体制の確保 地域福祉体制の充実・強化 環境保全と地域資源の活用 温暖化対策	政策1 健康・命を守る保健医療の確保 政策2 地域で安心して自分らしく暮らすことができる福祉の充実		
	5	誰もが活躍できる社会 ・生産年齢人口の減少 ・一億総活躍社会を目指す ・女性の就業率の推移 ・人づくり革命(=人材投資)の必要性 ・働き方改革	・高い女性の就業率	・人材投資の必要性 ・高い女性の就業率		産業や生活の基盤づくり(戦略5)	目的：県内の経済活動や人々の生活を支える基盤の整備 手段：交通ネットワークの充実 防災体制の整備 地域コミュニティの活性化	政策2 災害に強い県土づくり 政策3 地域を支えるコミュニティづくり		
	6	社会保障制度改革 ・分配と成長の好循環 ・人材の確保の取組	・医療人材の状況 ・介護人材の状況 ・保育人材の状況	・人材の確保の必要性 ・人材の偏在		人口減少抑止への挑戦と地方創生	・人口推計 ・合計特殊出生率 ・年齢別人口構成の変化 ・まち・ひと・しごと創生 ・東京一極集中	・社会減の継続 ・自然減の増加 ・東京圏への流出	上記の全ての施策の総合的な結果が人口減少対策	
	7	地球温暖化への対応 ・温暖化の進展 ・地球の限界の危機 ・持続可能な開発目標への取組 ・温室効果ガスの削減 ・クリーンエネルギー	・発電量と電力使用量 ・再生可能エネルギーの状況	・温暖化対策の必要性 ・再生可能エネルギー資源 ・持続可能な社会への転換		安全な暮らしの確保 ・温暖化による気候変動 ・豪雨、大風、地震、火山 ・国の緊急対策 ・自助・共助・公助 ・電話詐欺(特殊詐欺)等 ・交通事故	・防災減災対策の必要性 ・自助、共助への取組 ・交通事故への対応 ・電話詐欺への対応	交通ネットワーク ・国土形成計画 ・リニア中央新幹線 ・道路のストック効果 ・コンパクト+NW ・公共交通の利用者減	・リニア中央新幹線の開業 ・中部横断自動車道の整備 ・ストック効果の向上 ・公共輸送人員の減少 ・免許返納者の増加 ・高齢者の交通手段の確保	政策1 産業・生活を支える交通ネットワークの充実
	8	安全な暮らしの確保 ・温暖化による気候変動 ・豪雨、大風、地震、火山 ・国の緊急対策 ・自助・共助・公助 ・電話詐欺(特殊詐欺)等 ・交通事故	・H30台風による被害 ・電話詐欺の状況	・防災減災対策の必要性 ・自助、共助への取組 ・交通事故への対応 ・電話詐欺への対応		人口減少抑止への挑戦と地方創生	・人口推計 ・合計特殊出生率 ・年齢別人口構成の変化 ・まち・ひと・しごと創生 ・東京一極集中	・社会減の継続 ・自然減の増加 ・東京圏への流出	上記の全ての施策の総合的な結果が人口減少対策	
	9	交通ネットワーク ・国土形成計画 ・リニア中央新幹線 ・道路のストック効果 ・コンパクト+NW ・公共交通の利用者減	・リニア中央新幹線による時間短縮効果 ・道路延長、改良率等の状況 ・土木施設の老朽化の進展 ・公共輸送人員の減少 ・免許返納者数の増加	・リニア中央新幹線の開業 ・中部横断自動車道の整備 ・ストック効果の向上 ・公共輸送人員の減少 ・免許返納者の増加 ・高齢者の交通手段の確保		人口減少抑止への挑戦と地方創生	・人口推計 ・合計特殊出生率 ・年齢別人口構成の変化 ・まち・ひと・しごと創生 ・東京一極集中	・社会減の継続 ・自然減の増加 ・東京圏への流出	上記の全ての施策の総合的な結果が人口減少対策	
	10	人口減少抑止への挑戦と地方創生 ・人口推計 ・合計特殊出生率 ・年齢別人口構成の変化 ・まち・ひと・しごと創生 ・東京一極集中	・社会減の継続 ・自然減の増加 ・東京圏への流出	・社会減 ・自然減		上記の全ての施策の総合的な結果が人口減少対策	上記の全ての施策の総合的な結果が人口減少対策	上記の全ての施策の総合的な結果が人口減少対策	上記の全ての施策の総合的な結果が人口減少対策	